企業・団体名（株式会社　綜合印刷）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	性別･年齢･障がい･国籍などの差別的体制はない。経営陣が差別の抑制に注意を払っている。長野県「社員の子育て応援宣言」登録制度に登録し、安心して働ける環境を用意している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する旨を社員に周知している。 ハラスメントに関する社内研修を計画中である。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	2交代制を導入し、生産性を維持している。過度な長時間労働を防ぐ等の管理･対策を行っている。 ジョブローテーションの実施で業務能力の多能工化を図り、負荷が分散される仕組みを構築している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	差別･人権侵害の無い労働環境を整備している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	整理整頓を心がけ、安全面での改善に取り組んでいる。安全衛生委員会にて労働環境の改善に取り組み、具体的な改善指導や掲示物等での注意喚起を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	秋のストレスチェックにて産業医の所見を頂いている。 カウンセラーとの面談制度を設けている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	定年後の雇用延長を積極的に行っている。障がい者雇用も実施しており、安心･安全に働ける環境を整えている。長野県「社員の子育て応援宣言」登録制度に登録し、人材の定着に努めている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた研修会へ参加、社内指導を進めている。外部指導者によるセミナーや技術指導なども利用し、能力開発に努めている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	法令に従い適切な賃金体系を構築している。 社員の適正な人事評価を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断を年に1回受診している。 感染症の予防接種の推奨。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理業者を慎重に選定し、廃棄物が排出先で適切に処理されていることを確認している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】算定ツールを利用してエネルギーの使用量を把握することで、温室効果ガスの抑制に役立てる。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	LED照明への切り替えを推進している。不要な照明は消灯する、仕事を分散させず、集中させる等の取り組みにより、無駄なエネルギーの浪費を防いでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質を含む溶剤の使用を禁止してる。 新規購入物に有害化学物質が含まれていないか事前に確認を取っている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	各種溶剤等が外部に流出し、自然に悪影響を及ぼさないように管理している。マニフェストを用いた産廃処理の徹底。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	現像レスタイプの版を利用することで現像に用いていた薬液を削減する。古紙は回収業者へ、廃材は分別して再生業者へ引き渡している。板･段ボール･封筒等後日使用できるものは大切に保存し、再利用している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	印刷機の冷却に用いる冷却水を循環利用している。水なし印刷機を導入したことにより、湿し水を使わない印刷が実現できている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	社内環境を整備し、ISO14001を取得した実績を踏まえ、現在はより自社に適した環境マネジメントシステムを運用している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ホームページで当社の環境に対する取り組みを掲示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	再生可能エネルギーによる発電を積極的に行っている電力会社から電気供給を受けている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	FSC森林認証を取得済み。 長野市、塩尻市、東京都に事業展開をしており、拠点間の会議はTV会議を利用することで移動にかかるCO2排出コストを削減する取り組みを実施している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に規定し、周知している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備をすることで、不正競争行為の防止を徹底している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	制作上で取り扱う知的財産の管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本方針」を定め管理している。また ホームページへの掲載も実施している。 プライバシーマークを取得し、個人情報の管理を徹底している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	インキ等材料の仕入業者に紛争鉱物を取り扱っていないことを確認済みである。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	関係各社へのヒアリングやホームページ上の情報により人権や倫理面での対応について認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレーム情報を元に業務を見直し、リスクを分析することで安全性の高い製品とサービスを提供する体制が構築されている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質検査装置や絵柄検知器など各種機器を使うことで品質を高めている。不良品が発生した際には原因を追求し対策を講じる仕組みがある。場合によっては専門家の意見も仰ぐことで品質向上に努めている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	FSC森林認証紙を使用した印刷物の販促･受注を積極的に行っている 。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	文字情報を内包した二次元バーコード（SPコード）や切り欠き加工を施した印刷物を積極的に推進し視覚障害者への情報提供に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域からの仕事を積極的に受注している。また地域の企業へ仕事をアウトソーシングしている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	定期的な地区清掃に参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	仕入等を地元の業者に優先して発注をしている。 地域の人材雇用に努めている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している。朝礼等の機会使い随時社員と情報共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	掲示板等で法令順守の重要性を社員に向けて発信している。 専門家に相談できる体制を整えている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者を決めており、各部署との連絡も取れる仕組みになっている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	常にコミニュケーションを取って影響を予測し対応出来る様に準備をしてる。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	過去のミスやトラブルの対策を共有し、リスクの軽減に努めている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンスを遵守することに努めている。従業員の能力向上を支援している。安全衛生や健康管理に配慮された職場環境を整備している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP（事業継続計画）の策定に向けて計画をたてる。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	人材育成及び後継候補選定を進めている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）